

海外からの受入に係る結核対策について

感染制御部

岡山大学病院で受け入れる海外からの研修者については、以下の通り対応するものとする。

1. 患者との接触がある場合(診療およびケア)

＊受入時の必要確認項目(現地で実施)

- ・結核の病歴：既往歴、治療歴の有無
- ・ I G R A (Q F T or T-spot)

(1) 結核の病歴

- ・なし ⇒ 問題なし
- ・既往歴あり ⇒ 治療歴の確認、活動性結核の否定が必要(要診断書)

(2) IGRA(QFT or T-spot)

原則：現地で実施

(a) 現地で実施した場合

- ・陰性 ⇒ 問題なし
- ・陽性 ⇒ 要精査

〈IGRA 陽性時の精査〉

- ① 胸部 CT
- ② 喀痰抗酸菌塗抹検査(3回) (結核 PCR1回)

[医師による診断書が必要](#)

(b) 現地で実施不可能な場合

- ・日本に到着後に IGRA 実施(結果判明までは見学のみ)
- 陽性時には前記の IGRA 陽性時の精査を実施

2. 患者との接触がない場合

＊受入時の必要確認項目(現地で実施)

- ・結核の病歴：既往歴、治療歴の有無

(1) 結核の病歴

- ・なし ⇒ 問題なし
- ・既往歴あり ⇒ 治療歴の確認、活動性結核の否定が必要(要診断書)

2016 年 12 月 26 日作成	
2017 年 2 月 14 日改訂	
2017 年 10 月 11 日改訂	
2019 年 7 月 5 日改訂	書式変更のみ。内容変更は確認のみ。
2022 年 9 月 7 日確認	
2025 年 3 月 31 日改訂	レントゲンを削除